

学童のトイレ・支援員の配置・雇用条件改善を

2015年12月議会での一般質問

現在入間市には、16の小学校それぞれに学童保育室がありますが、児童数に比べてトイレが不足しています。仏子学童には、50人の児童に対して男女共用・障害者用トイレが各一つづつしかありません。9施設に女性専用トイレがありません。27年度からの6年生まで受け入れに対応しておらず、人権問題です。改善を求めると市長は「改善の方向で頑張る」と答弁。「女性トイレが無いのは人権問題では」と質すと「喫緊の課題として取り組む」と答弁しました。

複数の支援員配置を

夏休みなど学校の長期休業中に支援員が一人になってしまう時間帯があり、子どもが外に出てしまった場合など職員がいなくなってしまう。「常時複数配置が必要では」と質すと市長は「12月にはパート職員の配置で解消する」と応えました。解消は、重要ですが、私は県の基準の常勤の複数配置を求めました。

子どもとのコミュニケーションを深め成長を保障する支援員は、豊かな経験を必要としますが、市の直接雇用への応募が不足し派遣から4名を補充しています。「支援員を確保するために安定した雇用条件を保障する必要があるのでは」と質すと市長は「認識しているが、財源の問題がある」と答弁。私は、「子育て応援を重点施策にしているのだから充実させるべきだ」と求めました。

と答弁。私は、「子育て応援を重点施策にしているのだから充実させるべきだ」と求めました。

年度内に西武歩道改善へ

元加治団地南側市道、暗渠上歩道のガタつき・隙間の改善を求めると建設部長から「今年度中に改善する」との答弁を得ました。

市役所障害者駐車場

「市役所東側の障害者専用駐車場は、傾斜していて多数から苦情があります。「バリアフリーの観点からも改善は喫緊では」と質すと市長は、「来年6月定例会には検討結果を示す」と答弁。私は「改善しなければバリアフリーに取り組まない自治体とのレッテルを貼られても仕方がない」と主張しました。



市役所障害者専用駐車場

小出わたるの連絡先

どんなことでもお気軽にどうぞ

住所 〒358-0053 入間市仏子1170-4
電話 04 (2932) 7884
携帯 090 (6542) 3883

日本共産党小出わたる

市議会つうしん

●近況・活動・第4回定例議会の報告

No 26

2016年1月

- ◇安倍政権打倒へ市民とともに
- ◇子どもが集まる自治体へ学童保育改善
- ◇西武地域歩道改善へ・市役所障害者駐車場改善を



安倍政権打倒の年へ

50周年記念「入間で第九を歌う会」頑張ります

みなさん風邪など引かれていませんか。私は、年末恒例のチャリティーコンサートでパ바로ッティのおはこだったネッスンドルマというオペラを歌い「議員やってる姿よりずっといい」という素直に喜べない評価をいただきました。今年は、市政50周年行事の「入間で第九を歌う会」の実行委員をさせていただきます。好きな分野を生かし、入間市の50周年を祝うとともに、市の文化発展の一助に成ればと思います。

市民が政治を動かす

さて、いいよいよ決戦の年がやって参りました。安倍自公政権を退場させる年です。原発再稼働、TPP、沖縄新基地、消費税など暴走の枚挙にいとまはありませんが、戦争法強行で国民の怒りは頂点に達し、政策や信条を脇に置いての共闘が大きく発展していま

す。熊本では、50を超える市民団体が、協力して野党各党に要請した結果、共産党を含む5党による戦争法廃止の無所属候補の擁立が決定しました。

市民が直接政治を動かす時代に成りました。共産党はみなさんと共に安倍政権打倒のスクラムを組み安倍政権打倒に全力をあげます。

中橋歩道の拡幅が実現

12月に入り、中橋の耐震補強に伴う歩道拡幅工事が始まりました。私は、23年12月と26年6月議会で中橋の歩道拡幅を求め一般質問しました。時間はかかりましたが、実現する運びとなりました。歩道の幅が現在の2倍の3メートルになり、落下防止のフェンスがつけられます。来年度中には完成する見込みです。地域の要望を市政に直接届けます。ご意見お待ちしております。

8600筆の市民の願い届かず

第4回定例議会

「基地拡張反対」請願を議会が否決

12月議会に「ストップ入間基地拡張！市民の会」から提出された「入間基地拡張となる『災害対処拠点施設及び自衛隊病院設置』に反対し平成20年計画実現を求める請願」が、共産党市議団以外の反対で否決されました。

市長が勝手に「受け入れ」表明

請願は、田中市長が防衛省の要請に対して、市民への説明も市議会の議論も無いまま、「受け入れ」表明したことに抗議したものの、7977筆の署名はその後も次々に届き8600筆を超えています。

戦争法の具体化となる基地拡張

11日、30名を超える傍聴者が見つめるなか市議会基地対策特別委員会で審議。

「市民の会」代表の小川満世氏が趣旨説明を行い、防衛省の「入間基地拡張、自衛隊病院建設」計画は、戦争法の具体化「戦争できる国」の準備そのものであり、市民は断固拒否すると主張しました。

さらに、市長の決定は住民無視、議会軽視で、憲法92条の地方自治の原則に反すると厳しく批判。緩衝緑地帯である市街地の貴重な緑が伐採されれば、東町小・

中学校や地域住民への影響は甚大。市民生活を守るためにも緑地は保全すべきと訴え、平成20年の計画実現への努力を市長と行政に求めました。

紹介議員の小出亘市議が防衛省の計画と20年の計画に何ら整合性はないとして、請願を尊重し採択をと訴えました。

市は20年計画実現へ努力せず

審議のなかで、入間市は平成20年の計画策定後、用地取得に向け財務省と一度も協議していないことが明らかに。

安道佳子市議が賛成討論を行い「市長の受け入れ理由は、市民を欺くもので、戦

争するための基地拡張は断じて受け入れられない。請願に込められた市民の願いを受け止めるべき」と強調しました。

議会最終日の本会議において、共産党以外の会派は、市の計画と防衛省の計画は整合性があると主張。請願に込められた市民の平和の願いは受け入れられることなく、請願は不採択となりました。



邦人輸送訓練に抗議する市民

国保税改定・図書館分館指定管理に反対

共産党は17議案のうち2議案に反対しましたが全て賛成多数で可決されました。

国民健康保険税条例の改定は、国保税の限度額を現行の81万円から85万円に引き上げるものです。入間市では昨年からの国保税増税が行われたばかり。国保は社会保障です。自治体は住民の健康と医療を守るという本来の役割を果たすべきです。



図書館3分館(西武・金子・藤沢)の指定管理者を民間企業に指定する議案が提出。今回の指定管理者制度導入にあたり入間市図書館協議会に諮問さえしておらず、市が強引に推し進めていることは大問題です。倒産などの恐れのある民間業者が管理・運営する指定管理者は安定的、継続的なサービスを提供することは困難です。市民の生涯学習を保障する社会教育施設は、市が直営で運営すべきです。

学校統廃合を提案

市主催の「入間市公共施設マネジメントシンポジウム」で「最適化方針」と称して学校を統廃合し、図書館・市役所支所・保育所・学童保育などを学校に移設する方針が説明されました。小学校16校、中学校11校をそれぞれ9校に統廃合し、地域の公共施設と複合化させていくものです。

どの学校を対象にするかは不明で、29年度から開始、10年間の計画です。人口減少を理由にしているが、人口減少をくい止める観点は全くありません。財政削減ありきで進める学校統廃合は、子ども達に大きな負担を課し、地域を衰退させます。

共産党議員の一般質問

- 石田よしお議員 不安負担増大のマイナンバー制度
- 吉沢かつら議員 子どもの権利を守る施策の充実を
- 小出わたる議員 学童保育室の改善・西武地域歩道
- 安道よし子議員 入間基地へのC2配備で基地強化

日本共産党市議会報告

2016年1月	発行/日本共産党入間市議団 連絡先/電話・Fax2932-2840	
石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883